

倉敷市第三次環境基本計画の進捗状況等について



くらしき環境マスコットキャラクター
「くらいふ」

環境基本計画の評価

◆指標の設定

- 5つの基本目標及び共通目標にかかる11の各政策に、施策の進捗状況を測る「ものさし」として指標を2～4つ設定

【指標例】

- 身近なところで、生き物（動物、昆虫や植物など）にふれあえる場や機会（イベントを含む）があると思う人の割合
- 身近な地域の緑の量が多いと感じている人の割合

16才以上、2,000人を
対象に市民アンケートを実施

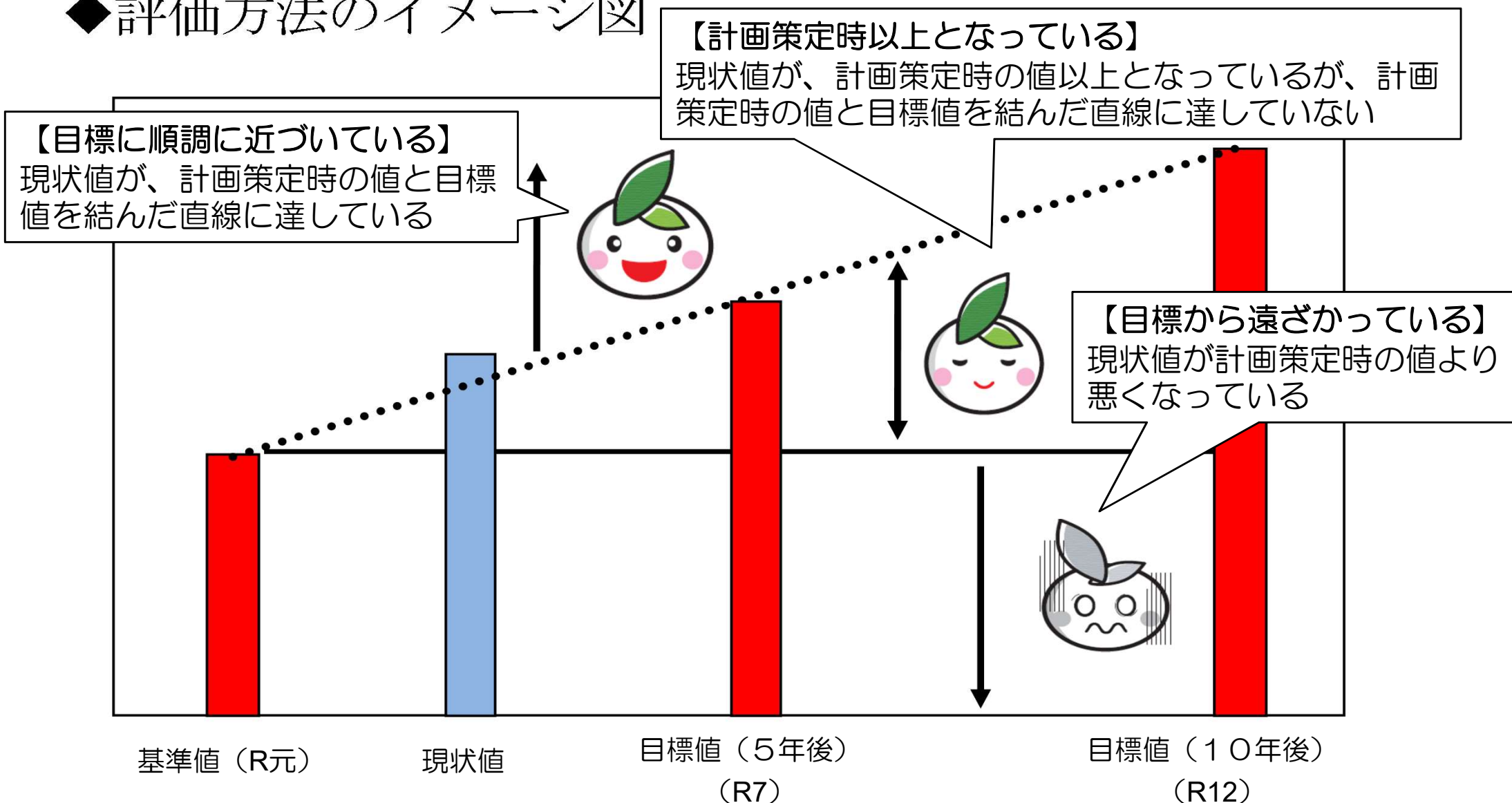
- 汚水処理人口普及率
- 1人1日当たりの家庭ごみ排出量

事業実績値

◆めざそう値との比較

- 5年後及び10年後の目標値である「めざそう値」と市民アンケート結果や事業実績値を比較
⇒年度毎の傾向を把握



◆評価方法のイメージ図



※「1人1日当たりの家庭ごみ排出量」「事業ごみ（一般廃棄物）の年間排出量」「最終処分率」「産業部門での年間温室効果ガス排出量」「世帯当たりの年間温室効果ガス排出量」「熱中症搬送患者数」については、値が小さくなるほど目標値に近づくため、上の図とは反対になります。

基本目標1：自然環境が守られ、環境と経済・社会とのバランスが保たれているまち

●政策① 豊かな自然環境を保全し、自然とのふれあいを促進します

設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
身近なところで、生き物(動物、昆虫や植物など)にふれあえる場や機会(イベントを含む)があると思う人の割合 ＜総合計画指標＞	32.8%	26.0%		38.0%	43.0%
【考察】 新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントの中止や講座の縮小などにより、生き物にふれあえる機会が減少したことが影響したものと考えられる。今後は感染症対策を行いながら、生き物にふれあえる機会の確保に努めるとともに、その周知を行う。					
自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数 ＜総合計画指標＞	11,533人	13,860人		14,500人	18,000人
【考察】 新型コロナウイルス感染症の影響により参加者が減少したイベントなどはあるものの、令和4年4月に自然の家をリニューアルオープンしたことなどにより、全体の実績値は上昇した。今後は、様々なニーズへの対応を図りながら、現在実施している事業を継続して実施する。					




【R4年度の主な事業】

- ・公共事業、民間開発におけるスイゲンゼニタナゴ等希少野生生物の保護対策、ミズアオイ自生地 of 保護管理
- ・生物多様性エコツアー（高梁市）の実施による、流域圏域における担い手・リーダーの育成
- ・自然観察会、「倉敷動物妖怪展」「倉敷にクジラがやってきた!」、各種講座等の実施

★【R5年度からの新規事業】

- ・自然史博物館移転に係る整備の基本計画の策定

●政策② 環境・経済・社会の好循環の創出により、持続可能なまちづくりを推進します



設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
環境マネジメントシステムを導入し、環境経営に取り組んでいる事業者の割合	53.0%	56.9% (R3)		58.1%	61.5%
【考察】 第三者機関による認証制度のうち、中小企業が取り組みやすい「エコアクション21」について、他部署とも連携を図りながら引き続き、普及啓発に努めていく。					
倉敷市・高梁川流域SDGsパートナーの登録数 ＜総合計画指標＞	0件	341件		150件	300件
【考察】 住民向けイベントや事業者向けセミナーの開催により、本制度の認知度が向上しているものと考えている。引き続きパートナーと連携し、パートナーのSDGs達成に向けた取り組みの認知向上に努める。					
企業が補助金を受けて行う、環境に配慮した研究・開発、設備投資の件数	2件	8件		5か年計 15件	10か年計 30件
<p>【考察】 実績値の内訳は、設備投資促進奨励金7件、新技術・新製品研究開発補助金1件である。脱炭素経営の考え方が、大企業を中心に浸透しているものと考えられ、引き続き、設備を更新する場合の補助要件である「環境負荷の軽減」を継続する。</p> <p>※新技術・新製品研究開発補助金は、事業の見直しにより令和3年度をもって廃止</p>					

【R4年度の主な事業】

- ・「エコアクション21」認証取得研修会の実施及び市内認証・登録事業者に対する更新時の経費一部助成
- ・「脱炭素社会に向けた経営支援セミナー」の開催
- ・廃食油からのバイオディーゼル燃料生成

基本目標2：潤いと安らぎ、歴史的・魅力的な景観を有しているまち



●政策③ まちの緑化を推進し、潤いと安らぎのある生活空間の充実を図ります

設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
身近な地域の緑の量が多いと感じている人の割合 ＜総合計画指標＞	35.1%	31.7%		37.1%	38.5%
【考察】 緑地の面積は昨年度から微増しているものの、緑の量が多いと感じるまでには至っていないと考えられる。引き続き公共施設の緑地化を推進するとともに、令和4年12月からは民有地緑化補助を開始することにより、緑化の推進を図っている。					
都市公園の整備（1人当たりの面積）	8.2m ² /人	8.2m ² /人		9.0m ² /人	9.5m ² /人
【考察】 街区公園を含め、少しずつではあるが都市公園の整備を進めている。引き続き市民のニーズに即し、自然環境や景観に配慮した公園、災害時避難場所や防災機能を備えた公園の整備を進めていく。					

【R4年度の主な事業】

- ・市民の緑化活動の支援（地域の道路緑化（フラワーロード）、もてなし花壇など）
- ・くらしき都市緑化フェア等のイベントの開催
- ・公園の施設改善
- ・民有地緑化の補助制度開始

●政策④ 瀬戸内海と高梁川の恵みを生かし、伝統に根づいた風格のある美しい倉敷の景観づくりを推進します




設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
倉敷市の景観を良くする取組に関わりたいと思う人の割合 ＜総合計画指標＞	44.1%	31.6%		50.0%	57.0%
【考察】 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を自粛し、景色や風景などに触れ合う機会が少なくなったためと考えられる。今後、景観に配慮した建築物等を増やし、良好な景観の整備を進めることで、市民の景観への関心を高める。					
倉敷市の景観が良くなったと感じている人の割合 ＜総合計画指標＞	35.8%	43.4%		42.0%	49.0%
【考察】 倉敷市都市景観条例に基づく届出、支援事業等の成果が出ているものと考えられる。引き続き、届出、支援事業等を活用した景観誘導を進めていく。					

【R4年度の主な事業】

- ・国指定重要文化財 井上家住宅の保存修理工事の実施
- ・建物の外観の修理・修景に対する補助金の交付
- ・景観形成重点地区指定に伴う既存不適格となる突出し広告物の除却に関する補助金の交付

基本目標3：水と空気と大地がきれいで、常に安全でおいしい水が届き、安心して暮らすことができるまち



●政策⑤ 良好な水環境、クリーンな大気環境の保全に努めます

設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
河川海域のBOD・COD・全窒素・全りん 環境基準適合率	73.7%	76.3%		84.2%	100%
【考察】 海域の全りんの濃度が低下したことにより、環境基準の適合率は上昇している。引き続き河川海域の水質監視を継続実施するとともに、工場・事業場に対して立ち入りや行政検査を行う。また、生活排水による環境への影響低減のため、環境保全推進員等への研修も継続して行う。					
大気環境基準達成率 ＜総合計画指標＞	84.7%	86.2%		85.6%	86.4%
【考察】 大陸の大気環境が改善傾向にあり、越境するPM2.5が減少したものと推測される。引き続き大気環境を監視し、市民にわかりやすい情報提供を行う。また、工場・事業場に対して立ち入りや行政検査も継続して行う。					
汚水処理人口普及率 ＜総合計画指標＞	92.7%	93.4%		96.3%	97.1%
【考察】 下水道や浄化槽の整備により数値が伸びている。引き続き下水道事業、浄化槽整備を進めていく。					

【R4年度の主な事業】

- ・河川海域での水質調査、市内大気測定局等における大気調査
- ・工場・事業場への大気・水質等に関する立ち入り調査
- ・下水道施設の整備や、合併処理浄化槽の設置に対する補助金交付

●政策⑥ 快適な生活環境の確保に努めます



設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
清掃活動に参加している人の割合 ＜総合計画指標＞	65.5%	55.5%		72.0%	75.0%
【考察】 新型コロナウイルス感染症対策のため、全市一斉ごみ0キャンペーン等の清掃活動を伴う各種イベントが規模縮小となったため、参加者数が減少したものと考えられる。今後は、倉敷市環境衛生協議会と連携し、参加を呼びかけるなどの活動によって、参加意思のある方の掘り起こしを図る。					
水道水を飲料水として直接飲んでいる人の割合(直接飲用率) ＜総合計画指標＞	96.9%	98.3%		97.5%	98.0%
【考察】 小学校での貯水槽を經由しない水飲み場の整備、出張授業等を継続して実施したことによるものと考えられる。貯水槽を經由しない水飲み場を中学校でも整備し、引き続き水道水の安全性やおいしさの広報活動を実施する。					

【R4年度の主な事業】

- ・道路、水路、公園などの公共施設の清掃美化活動を行うボランティア団体への支援
- ・航空機による上空監視や、休日夜間の監視パトロールなどによる不法投棄の防止対策
- ・貯水槽を經由しない水飲み場の整備

基本目標4:リデュース・リユース・リサイクルが徹底され、環境に配慮した循環型社会が形成されているまち

●政策⑦ 廃棄物の発生抑制・再使用を進めます

設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
1人1日当たりの家庭ごみ排出量 ＜総合計画指標＞	509 ^{グラム}	498 ^{グラム}		469 ^{グラム}	440 ^{グラム}
広報くらしきや各種チラシ等による周知啓発により、ごみ減量に向けた住民意識が醸成されたものとする。今後とも、ごみ減量に関する周知啓発のさらなる強化を図るとともに、資源ごみの集団回収を奨励するごみ減量化協力団体報奨金の交付や、生ごみ処理容器購入に対する補助金の交付補助なども推進し、家庭ごみの減量化の取組を推進する。					
事業ごみ(一般廃棄物)の年間排出量 ＜総合計画指標＞	70,849t	65,476t		66,817t	62,814t
【考察】 新型コロナウイルス感染症拡大防止による飲食店や商業施設等の経済活動の停滞による影響と考えられる。今後、事業ごみ排出状況がどのように変化していくのかということにも着目し、効果的な事業ごみ減量化の取組を進める。					



【R4年度の主な事業】

- ・「暮らしとごみ展」「リサイクルフェア」の開催によるごみ減量に関する啓発
- ・再生資源物の集団回収を行う団体への報奨金の交付
- ・不用品の修理再生、再生品の展示・提供

★【R5年度からの新規事業】

- ・食品ロスゼロ推進店制度の創設

●政策⑧ 廃棄物の適正な分別・リサイクルを進めます

設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
リサイクル率 ＜総合計画指標＞	11.4%	10.4%		22.3%	25.3%
【考察】 新型コロナウイルス感染症の影響により、協力団体の活動が停滞し、資源ごみの集団回収量が減少したため、リサイクル率が低下した。引き続き、様々な媒体を活用した広報やイベント等を通じて分別の徹底を推進し、リサイクル率向上に努める。					
最終処分率	1.8%	1.9%		1%台以下 を維持	1%台以下 を維持
【考察】 資源循環型廃棄物処理施設での家庭ごみや焼却灰の処理により、ほぼ横ばいの状況を保っていると考えられる。引き続き、ごみの減量、分別、資源化を推進し、最終処分率の向上に努める。					

【R4年度の主な事業】

- ・協力店のスーパーやごみステーションからのペットボトル回収・資源化
- ・特定家電や小型家電を再資源化業者へ引き渡し、資源化
- ・産業廃棄物排出事業者等に対する、産業廃棄物の適正な保管および処理に関する指導





★【R5年度からの新規事業】

- ・玉島環境センターの移転整備

基本目標5:脱炭素社会の実現に向け、だれもが地球温暖化対策を推進しているまち

●政策⑨ 温室効果ガス排出量の削減に努めます

※再設定後の目標値

設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12※
市全体から排出される温室効果ガスの削減割合＜総合計画指標＞ (H25年度 34,519千t-CO ₂ 比)	5.0%削減 (H29)	11.4%削減 (R1)		8.3%削減	23.2%削減
【考察】鉄鋼業や化学工業など産業部門における排出量の減少が大きく寄与したと考えられる。再生可能エネルギー設備や環境性能に優れた自動車の導入促進を進め、温室効果ガス排出量の削減に努める。					
産業部門での年間温室効果ガス排出量	26,401千t-CO ₂ (H29)	24,528千t-CO ₂ (R1)		26,208千t-CO ₂	21,761千t-CO ₂
【考察】鉄鋼業や化学工業など産業部門における排出量の減少が大きく寄与したと考えられる。脱炭素に向けた社会意識の醸成とともに、中小企業をはじめ省エネ推進に繋がる補助金やセミナーの開催などを通じて啓発を図る。					
世帯当たりの年間温室効果ガス排出量 ＜総合計画指標＞	5,037kg-CO ₂ (H29)	4,083g-CO ₂ (R1)		4,300kg-CO ₂	2,828kg-CO ₂
【考察】暖冬による暖房時のエネルギー需要の低減が大きく寄与したと考えられる。再エネ設備の導入を促す補助事業の実施とともに、環境に配慮したライフスタイルの普及啓発を行う。					
太陽光発電システムの導入件数(10kW未満)＜総合計画指標＞	18,642件	21,973件		25,418件	31,410件
【考察】太陽光発電への理解が広がることに加え、当市の補助事業における導入促進効果も大きく寄与したと考えられる。引き続き、補助事業を進めていく。					



【R4年度の主な事業】

- ・電気自動車等の購入に対する補助金の交付
- ・イベント、出前講座でのグリーンくらしきエコアクションの配布など、環境に配慮したライフスタイルの普及啓発

★【R5年度からの新規事業】

- ・省エネ家電の買い替えに対する補助

●政策⑩ 地域特性に応じた適応策を実施します



設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
熱中症搬送患者数	317人	404人		300人以下 を維持	300人以下 を維持
【考察】 新型コロナウイルス感染症のような発熱症状のある疾患の増加により、当該疾病者が熱中症疑いとして計上された可能性もあるが、マスク着用により熱中症リスクが高まっていた可能性もある。引き続き熱中症予防について普通救命講習会やホームページ、SNS等により周知し、熱中症発症の減少に努める。					
自主防災組織カバー率 ＜総合計画指標＞	73.3%	79.0%		90%	100%
【考察】 継続的な出前講座等の啓発事業により、自主防災組織の必要性の理解が進んでいるものと考えられる。出前講座等を活用し、自主防災組織のさらなる結成促進と活動活性化を支援するため、継続して啓発を行う。					

【R4年度の主な事業】

- ・ホームページやSNS、救急講習会の開催などによる熱中症の予防啓発
- ・「くらしき防災フェア」の開催による防災の啓発
- ・自主防災組織に関する出前講座の実施

共通目標:5つの基本目標を達成するための「人づくり」

●政策⑪ 環境意識を持ち行動できる人を育てます

設定指標	基準値 (R元)	実績値	傾向	めざそう値	
		R4		R7	R12
環境学習満足度 ＜総合計画指標＞	88.9%	91.6%		90.5%	92.0%
【考察】 講座の内容について随時見直しを行っている。見学者のニーズに応えられるようきめ細やかな配慮や対応を心がけて満足度向上につなげる。 ※各満足度 体験型講座:96.3%、出前講座:84.0%、施設見学:94.6%					
環境教育・環境学習講座受講者数	13,380人	6,160人		14,500人	15,500人
【考察】 新型コロナウイルス感染症対策のため、一部の講座や施設見学の受け入れを中止したことで受講者数が減少した。今後は感染症対策を実施しながら受講者数の増加を図る。 (参考:実績値内訳 講座受講者数:4,222人、施設見学者数:1,938人)					

【R4年度の主な事業】

- ・海ごみ発生抑制を目的とし、高梁川流域の4市1町で環境イベントへの参加、パネル展示
- ・「環境フェスティバル」「自然史博物館まつり」などの環境・自然に関するイベントの実施
- ・市職員による出前講座の実施

	 「目標に順調に近づいている」	 「計画策定時以上となっている」	 「目標から遠ざかっている」
基本目標1「自然環境が守られ、環境と経済・社会とのバランスが保たれているまち」	4 指標	0 指標	1 指標
基本目標2「潤いと安らぎ、歴史的・魅力的な景観を有しているまち」	1 指標	1 指標	2 指標
基本目標3「水と空気と大地がきれいで、常に安全でおいしい水が届き、安心して暮らすことができるまち」	2 指標	2 指標	1 指標
基本目標4「リデュース・リユース・リサイクルが徹底され、環境に配慮した循環型社会が形成されているまち」	2 指標	1 指標	1 指標
基本目標5「脱炭素社会の実現に向け、だれもが地球温暖化対策を推進しているまち」	4 指標	1 指標	1 指標
共通目標「5つの基本目標を達成するための「人づくり」」	1 指標	0 指標	1 指標
基本目標1～5及び共通目標の総合計(全26指標)	14 指標 (R3 : 13 指標)	5 指標 (R3 : 2 指標)	7 指標 (R3 : 11 指標)